



### 赤い羽根共同募金等 ご協力ありがとうございました

共同募金運動の推進につきましては、毎年格別の御協力をいただき深く感謝いたします。

五十二年度も皆様の御理解と御協力により目標額を上まわる実績をあげることが出来ました事を、お知らせします。

木滑	一九、二一七円
釣寄	一〇、二八五円
釣寄新	四、〇六〇円
月小	二、四〇〇円
その他	四、六二四円
	三七六円

#### 赤い羽根共同募金

五十二年度目標額	二二二、二〇〇円
五十二年度募金額	二一九、六〇二円

愛の協力運動協力金ありがとうございました。一世帯五〇円以上の協力金を、お願い致しましたところ目標を上まわる協力が得られました事をお知らせします。

大別当	二七、〇六六円
月満	八九、八六〇円
西置場	二〇、三〇〇円
上曲通	一九、四八八円
下曲通	一〇、〇一五円
東長島	一、九〇九円

大別当	一〇、〇四三円
月満	三二、一四〇円
西置場	七、〇〇〇円
上曲通	六、八〇二円
下曲通	三、五六二円

### ひと口メモ「節分」

二月四日は節分です。節分とは季節の変わり目を言い、従って立春、立夏、立秋、立冬それぞれの前日を節分だといって祝っていたようですが、立春の前日の節分だけは寒い冬の季節から春に移る節目、つまり一年の終りと始めに当たるのでとくに重要なものとされてきたようです。



この節分の夜「福は内、鬼は外」と大きな声で言いながら豆をまく習慣は、まだ各地でさかんに行なわれています。

鬼の面相は、描かれた絵や、人形で覚えてはいても、現実人間形をしてツノを生やし、キバをむきだし、この寒い冬の裸で、トラの皮のパンツをはいているなどどう考えても恐ろしい存在で子供心をふるえ上がらせます。

節分の豆まき行事は、一種の年越し行事でしたから大みそかの夜、行く地方もあると聞きます。もともと「鬼やらい」という行事は、平安朝のころ、宮中では毎年大みそかの夜、行なわれていたものです。「鬼やらい」というのは「追儂(ついな)」と言って、大舎人が楯と矛をもって鬼を追い、王卿以下が桃の弓で葦の矢を放つ行事でこれが鎌倉時代の未まで公の儀式となっていたようです。その後、各地の寺社でも行われるようになり、日取りもこの日に定着しました。

東長島	四、四五〇円
木滑	四、七五〇円
釣寄	三、四五〇円
釣寄新	一、二〇〇円
合計	七三、三九七円

### 眠っていませんか

### 古文書 写真など

村では、役場新庁舎竣工を記念して「月満村史」の発行を計画し現在準備を進めています。発行にあたっては、購入の申込みをして頂く予定であります。つきましては、この内容を充実させるための資料として、皆さんのお宅で、古文書や古い写真などがありませんでしょうか。ありましたら、この際、是非提供又は役場教育委員会までお知らせ下さるよう、お願いします。

### 保育園の入園申込みを 受付けています

昭和五十三年度前期(四月から九月)の保育園入園申込みを、次のとおり受付けています。

●入園該当児  
昭和五十三年四月一日現在で満二才以上の就学前児童。

●入園期間  
昭和五十三年四月一日から九月三十日まで

●申込み用紙  
役場住民課及び保育園にあります

●申込み場所  
役場住民課又は保育園です。

●申込み期限  
一月二十五日まで(厳守)

現在入園中の園児には、近日中に申込み用紙を持たせますので、所定の事項を記入のうえ、折返し提出下さい。



十二月一日〜十二月三十一日受理

◎生れた人	氏名	保護者	部落名
村松	久奈子	久栄	木滑
渡邊	直樹	悦夫	西置場
梨本	一雄	邦雄	月満

#### ◎およろこび

氏名	世帯主	部落名
本間 清	平一郎	十日町
(大淵万里子)	儀三郎	月満
笠原 健一	昭四郎	月満
田巻ゆかり	昭二	新潟市
薄井 伸一	伸一	美和村
小湊 瞳	竹治	大別當
阿部 正栄	興作	味方村
阿部菜穂子	進	上曲通

山口 修	保則	白根市	
鏡 ふさ子	作蔵	大別當	
中村 明敏	明敏	藤野町	
登石 朋一	善政	木滑	
磯貝 善一	善政	木滑	
石本美佐子	チエ	大阪市	
小山 秀則	秀則	新潟市	
山田チイ子	キヨシ	新潟市	
寺島 一嘉	一善	東京都	
山田えり子	廣市	東京島	
小林 博	博	月満	
小杉左代子	多榮次	栄村	
曾山 悟	甚一郎	釣寄	
竹田 伸子	七次郎	新潟市	
中山 伸行	勇治	上曲通	
佐藤 和子	勝蔵	亀田町	
◎亡くなった人	氏名	年齢	部落名
木村 久	78	世帯主	部通
長沼 ナカ	87	久衛	上曲通
曾山 ナカ	97	弥市郎	釣寄